

「油断が招く危うさ」

岩沼市立岩沼中学校 2 年

茨木 奈緒さん

学校の総合の学習の時間に、薬物乱用防止教室が開かれ、警察の方からお話を聞く機会がありました。覚醒剤や大麻、危険ドラッグなどのさまざまな薬物は、一度使用してしまうと脳や体に大きな悪影響を及ぼすこと、そして簡単にはやめられなくなってしまうこと、そのようなお話を聞いて、薬物は本当に恐ろしいものであり、絶対に関わってはいけないものだと思えました。また、薬物によって自分だけでなく、家族や友人といった周囲の人たちにも迷惑をかけてしまうということを知りました。

警察の方は、「薬物は誰にでも近づいてくる可能性があります」とおっしゃっていました。この言葉がとても強く印象に残っています。私はそれまで、薬物は芸能人や一部の大人だけの問題だと思っていたのです。しかし、SNSやインターネットを通じて、私たち中学生にも薬物の誘惑が近づいてくることを知り、決して他人事ではないと実感しました。

薬物を使ってしまうきっかけには、さまざまな理由があるそうです。例を挙げると、ストレスや不安から逃れたい気持ち、「一度だけなら大丈夫だろう」といった軽い気持ち、あるいは友人に勧められて断れなかったなどのケースがあると知りました。しかし、その「一度」が人生を大きく壊してしまうきっかけになることもあると知り、本当に怖いことだと感じたのです。

薬物乱用を防ぐためには、正しい知識を身につけることが何よりも大切だと思います。そして、もし誰かに薬物を勧められたとしても、はっきりと「それはダメです」と断る勇気を持つことが必要です。自分の意志をしっかりと持ち、正しい判断ができるようになるべきです。また、家族や友人と薬物の危険性について話し合い、周囲の人と一緒に意識を高めていくことも大切だと思います。

薬物は、自分自身だけでなく、大切な人達の人生にも大きな影響を与えてしまいます。だからこそ、私たち中学生も「自分には関係ない」と思わずに、一人一人がこの問題にきちんと向き合っていくことが必要なのです。

この作文を通して、薬物について改めて真剣に考えることができました。今後も、薬物には絶対に関わらないという強い気持ちを持ち続けていきたいと思ってやみません。

これからの生活の中でも、正しい知識と冷静な判断を大切にして、自分と大切な人たちの未来を守る行動を選び続けていきたいと思っています。そして、薬のない社会の実現に向けて、身近なところからできることを少しずつ積み重ね、周囲の人とも支え合いながら成長していきたいです。

薬物のない世界になるだけでも、大きな安心と希望が生まれる社会になるはずだと信じています。